発行年月	2022 年 7 月
手順書 No.	08224
品番	DSUTIRUJYO

つまみ錠 スチール製 電動タイプ
—交換手順書—

専門業者様向け

■交換の前にご確認ください

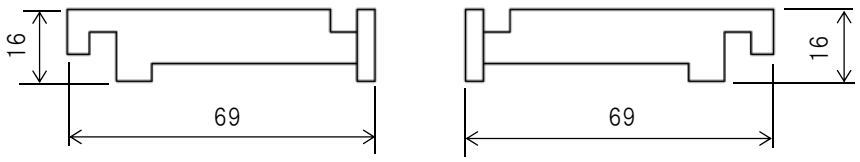
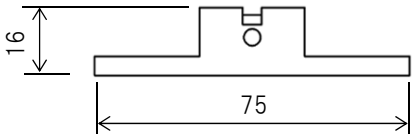
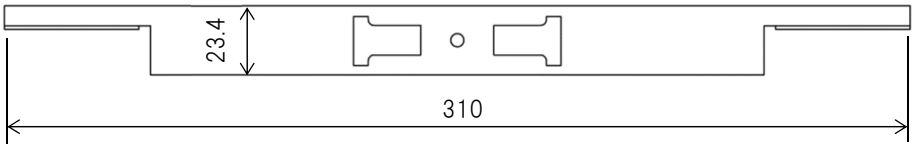
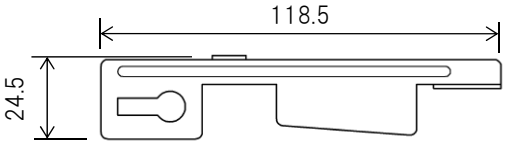
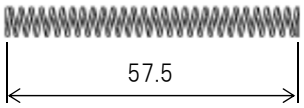
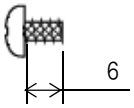
■ 安全のため必ずお守りください

・交換作業時に他者に電動開閉操作されないよう、配慮してください。
・2 階腰高窓など、バルコニーの設置が無い箇所での作業は、作業者の転落や部品、工具の落下の危険がありますのでおやめください。
・脚立を使用する際は安定した場所に設置し、安全に十分注意したうえで作業してください。

■ 必要な工具

プラスドライバー

■ 梱包内容

名称	形状等	個数
つまみ右 つまみ左 (電動用)		各 1 個
固定板		1 個
化粧カバー		1 個
ロック プレート		1 個
スプリング		2 本
なべ小ねじ	M4×6 	1 本

発行年月	2022 年 7 月
手順書 No.	08224
品番	DSUTIRUJYO

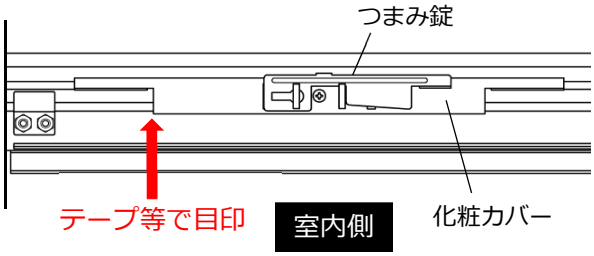
つまみ錠 スチール製 電動タイプ
—交換手順書—

専門業者様向け

■ 交換手順

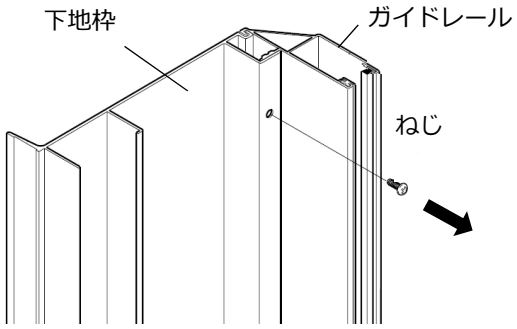
1. つまみ錠の位置確認

①つまみ錠が取付けられている左右の位置が分かるように、化粧カバーの端部位置にテープ等で目印を付けてください。
（交換時の位置出しのため）



2. 内観左側ガイドレールの取り外し

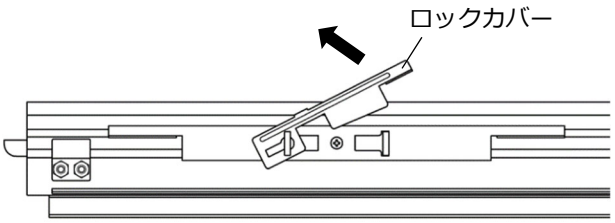
①シャッターを全開にします。
②内観左側のガイドレールを固定しているねじをドライバーで全て取り外し、下地枠からガイドレールを取り外します。



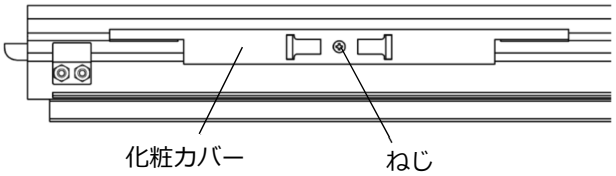
3. つまみ錠の取り外し

①作業しやすい座板高さまで、電動でシャッターを降ろします。この時、ガイドレールを外した側のシャッターがばたつかないよう手で押さえながら行ってください。

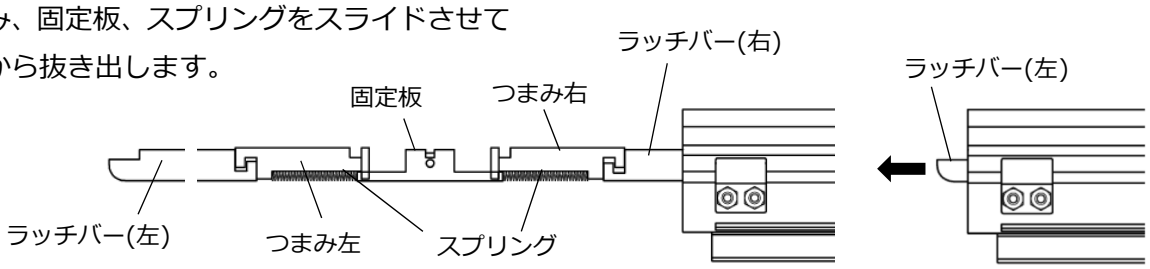
②つまみを押さえながらロックカバーを回転させ、つまみから取り外します。



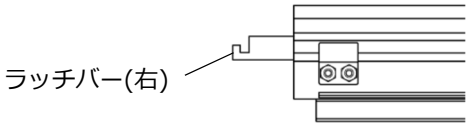
③つまみ錠のねじをドライバーで取り外し、化粧カバーを取り外します。



④座板の端部から出ているラッチバーを引出し、つまみ、固定板、スプリングをスライドさせて座板から抜き出します。



このとき、ラッチバー(右)は座板の溝内に残してください。ラッチバー(左)も再度使用しますので、破棄しないでください。

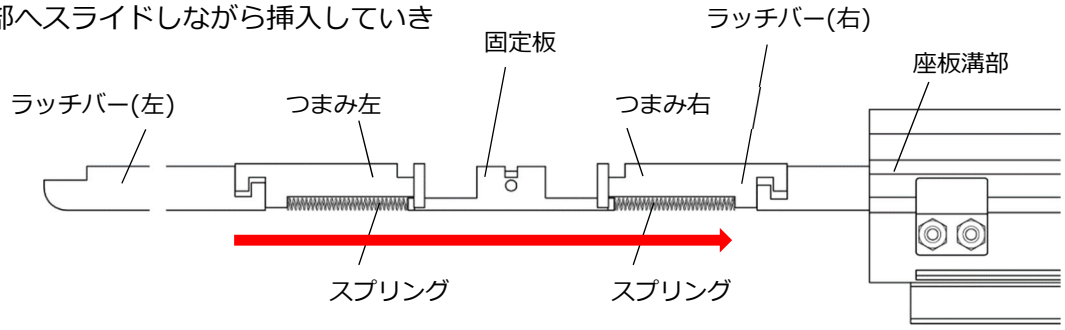


つまみ錠 スチール製 電動タイプ
―交換手順書―

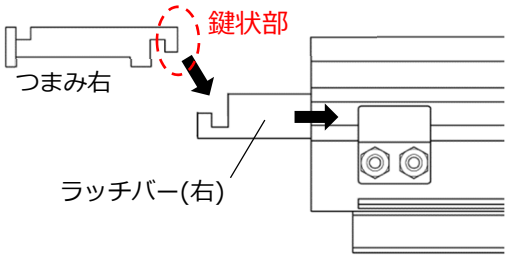
専門業者様向け

4. つまみ錠の取付け

①新しいつまみ錠のセット部品を、右下図の順番に座板溝部へスライドしながら挿入していきます。



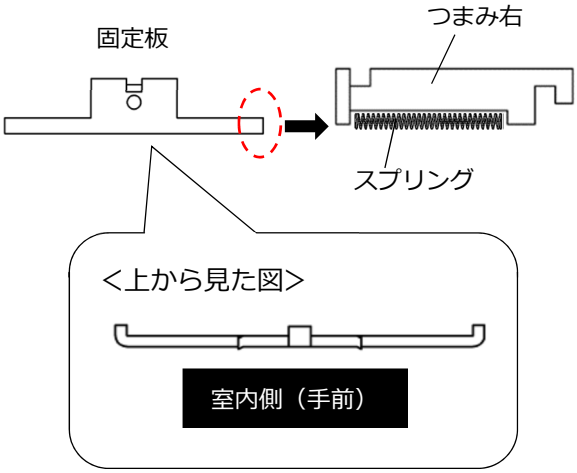
※つまみの鍵状の部分を、ラッチバーの切欠部に合わせます。



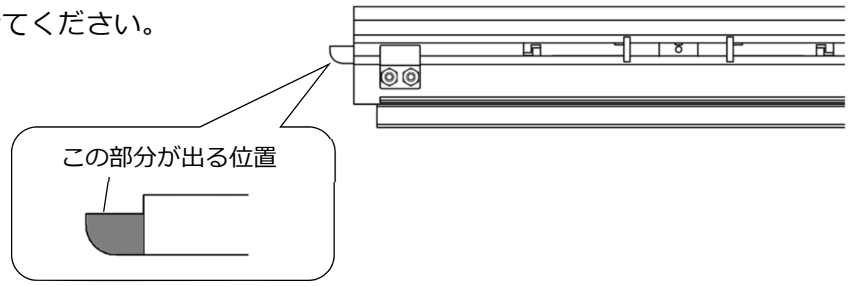
※スプリングはつまみの下部へ挿入します。
※固定板の先端がスプリングを押すようにセットします。

<注意事項>

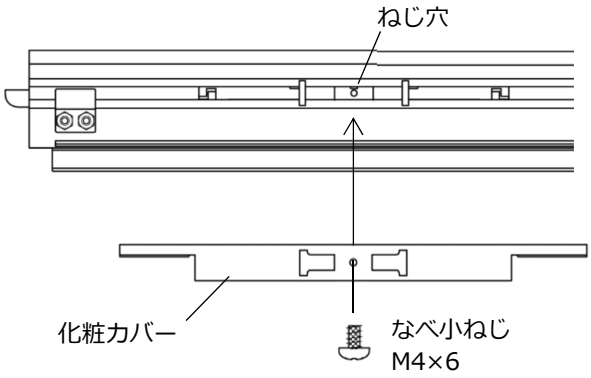
固定板の上下、裏表の向きに注意してください。



②ラッチバー(左)の先端が座板から出る位置までスライドさせてください。



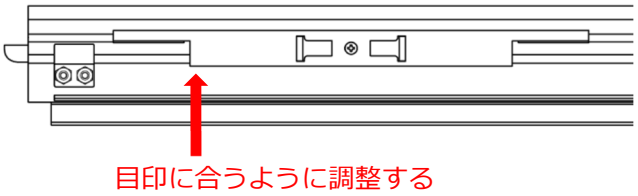
③つまみ左右を、少し閉じながら化粧カバーの切り欠きに入れ、化粧カバーにかぶせます。ドライバーを使用し、化粧カバーを付属のなべ小ねじ M4×6 で固定板のねじ穴に仮固定します。
つまみを操作し、ラッチバーの先端が動作することを確認してください。



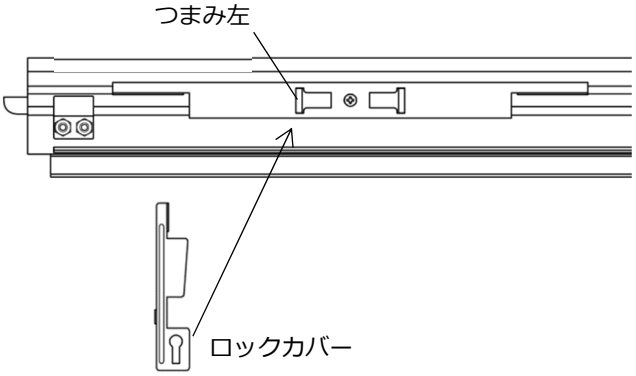
④最初に付けた化粧カバーの端部位置の目印に合うように化粧カバーの左右位置を調整し、なべ小ねじ M4×6 を本締めします。

<注意事項>

つまみ錠の左右位置がずれると、施錠不良やシャッター開閉時に引っかかるおそれがあります。

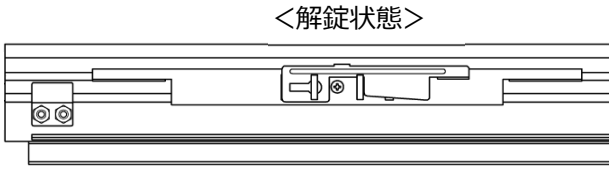


⑤ロックカバーをつまみ左に取付けます。



5．内観左側ガイドレールの取付け

①左右のつまみを閉じてロックカバーを掛け、解錠状態にします。



②座板を手で軽く押さえながら、電動でシャッターを全開付近まで巻上げていきます。

<注意事項>

上限付近でケース板やまぐさに指を挟まないようご注意ください。

つまみ錠 スチール製 電動タイプ
—交換手順書—

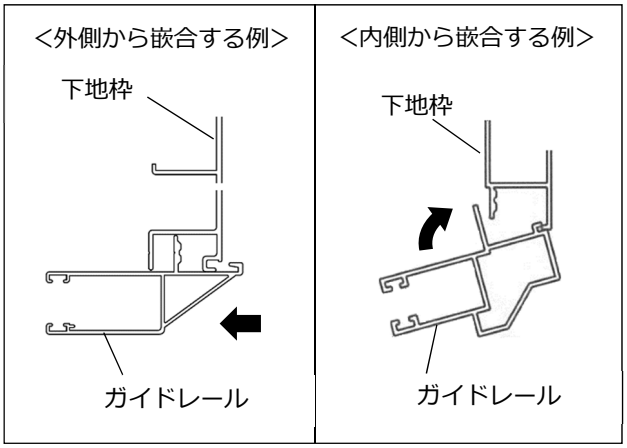
発行年月	2022 年 7 月
手順書 No.	08224
品番	DSUTIRUJYO

専門業者様向け

③ガイドレールの先端を座板、スラットの端部に差し込みながら、下地枠に嵌合させます。

<注意事項>

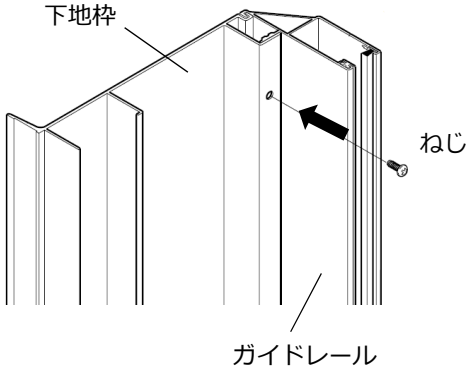
ガイドレール形状により下地枠への嵌合方法が異なります。右図を参考に取付けてください。



④下地枠にガイドレールをねじ固定します。

<注意事項>

電動ドライバーは使用しないでください。



⑤シャッターを操作し、正常に作動することを確認してください。